



まつかわくしゅう 松川学習センター 図書室広報 としよしつこうほう ぽっと心に本の灯をともしよう!



# まつぽっと



## としよしつおすすめの本



### えほん

『やまをうごかしたミン・ローさん』(E ロベル)

アーノルド ローベル/さく こみや ゆう/やく 好学社



ミン・ローさんのいえは、おおきなやまのふもとにあります。ミン・ローさんのおくさんは、やまからいわいしが落ちてきてやねにあながあくことや、ひがあたらなことがふまんでした。あるときおくさんが「やまをうごかしておくれ」とミン・ローさんにいいます。

### よみもの

『<sup>まじよ</sup>魔女のマジヨランさん <sup>せかいいち</sup>ケンタの世界一まずいクッキー』

(Y913 イシイ) 石井 睦美/作 井田 千秋/絵 ポプラ社



ミサトが住む商店街にある世界一まずいクッキー屋の店主マジヨランさんは実は魔女。心が弱っている子どもを助けるのが仕事です。ある日、お店におつかいにやってきた同級生のケンタは、マジヨランさんからもらったおためし用クッキーを食べてまずいと感じました。じつは、そのクッキーは食べた人の心の味がする魔法のクッキーで…。

### そのた

『きけんせいぶつ おおきなイラストでよくわかる!』

(B48 キケン) 成島 悦雄/監修 塩見 一雄/監修 高橋書店



せかいにはきけんなせいぶつがいっぱい。でもだいじょうぶ! このずかんで、なにがきけんかしておきましょう。おおきなイラストで、そのせいぶつのきけんどや、とくちょうがひとめでわかります。きけんなせいぶつに、であってしまったらどうしたらよいのか、あんぜんにみをまもるほうほうもかいてあります。



# としよしつのおすすめほん



## おはなしロケット

〔9月のテーマ:たまご〕



### 『まいごのたまご』

(E ラテイ) アレックス ラティマー/作  
聞かせ屋。けいたろう/訳 KADOKAWA

あるひ、きょうりゅうのたまごがかぜにふかれてころがり、まいごになってしまいました。たまごはおかあさんをさがしますが、おなじなかまのきょうりゅうはみつかりません。たまごはいつたどのきょうりゅうのたまごなのでしょう？

### 『どきどきオムライス』

(E ドリ) 荻田 澄子/作 ドーリー/絵  
鈴木出版

こぶたのぶうぶはオムライスがだいすき！きょうもオムライスをつくらうとしますが、あらたいへん！たまごがありません。おみせにいてもたまごはすべてうりきれです。そこへこわそうなオオカミさんがたまごをかかえてとおりかかりました。ぶうぶがおそるおそるオオカミさんにはなしかけると…。



## おひぎにだっこの

## おはなしかい



### 『パパ、お月さまとって』

(E カルエ) エリック カール/さく  
もり ひさし/やく 偕成社

「パパ、お月さまとって」モニカにたのまれて、パパはながーいはしごをたかーいやまのてっぺんにたてかけ、お月さまのところに行くともニカとあそんでくれるようたのみます。

### 『めがねがね』

(E ツペラ) tupera tupera/さく  
ひさかたチャイルド

かえるさんがぴょーんとはねたら、めがねがどこかにとんでった。きりんさんやふくろうさん、おじさんもじぶんのめがねをさがしています。みんなのめがねがみつかるといいね。

# としよしつイベント

ふゆ

## 冬の

## おはなしロケット スペシャル

★日にち 12月2日(土)  
★時間 10時30分から  
★場所 松川学習センター  
★対象 4さいから小学生

## テーマ ゆき 雪

## プログラム

かけえ  
影絵

ゆき  
『雪わたり』

ほかいりいろ！



## 図書室カレンダー

## 11月

## 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

毎月24日は  
ふくしま読書の日



■ は、おやすみです。  
♡ は松川学習センターの「ふくよみの日」です。

おひぎにだっこのおはなしかい: 11月2日(木) / 12月14日(木)  
おはなしロケット: 11月4日(土) / 12月2日(土)スペシャル

季節のことは  
これって、  
なに?

# じょうし せつく 上巳の節句



「上巳の節句」・・・少し聞きなれない言葉ですが、「桃の節句」とも呼ばれる女の子のしあわせと成長をお祝いするひな祭りの日のことです。桃の節句と言われるようになったのは、桃は邪気（病気などをおこすと考えられる悪い気）をはらう力があると考えられていて、花をかざったり白酒に花びらをうかべて飲んだりしていました。3月最初の「巳」の日に、人の形をした紙「人がた」にけがれを移し川へ流す行事があり、それが「流しびな」となりました。また、平安時代に貴族の女性が「ひいな遊び」という人形遊びをしており、この人形と人がたが合わさって「ひな人形」のもとになったといわれています。そして江戸時代の中頃に入ってから今のような女の子のお祝いとしてさかんに行われるようになってきました。そして、草もちやはまぐりのお吸いものなど、季節の食べ物を食べることによっても邪気をはらうとされ食べられています。

参考にした本／

『和の行事えほん1 春と夏の巻』高野 紀子／作 あすなる書房（B38タカノ1）

『暮らしのしきたり十二か月 うつくしい日本の歳時と年中行事』神宮館／編 神宮館（386クラシ）

としよしつ

## 図書室からのおねがい



◆本をかえす日をまもりましょう。次にまっている人がいます。



◆本を大切にあげましょう。ページをやぶいたり、らくがきはしないでください。やぶれても、セロハンテープなどでなおさず、カウンターまでおもちください。



◆雨の日は、本がぬれないように、バックに入れてください。



はじめよう！

# 10ぷんどくしよ

いつでも、どこでも、だれとでも

1日ごうけい10分、本に親しもう

松川学習センター図書室広報

まつぽっと 第17号 2023年11月発行



編集発行：松川学習センター図書室

〒960-1241

福島市松川町字杉内33

TEL 567-2403